

# 事業報告

## I 概要

平成 30 年度は、本県の重要な交通インフラであり、かつ観光地でもある瀬戸大橋が開通 30 周年を迎え、花火大会（天候の影響で夏に延期）などの記念行事が開催され、香川県に注目が集まった一年となった。

また、4 月から中四国で初めて民営化された高松空港が運営を開始し、路線の充実や新規路線開拓に向け、動きが活発になった。その効果と、当協会のこれまでの活動が実を結び、平成 30 年 10 月から高松・ソウル線が毎日運航、さらに本年 3 月からは高松・台北線も毎日運航となった。

また、平成 30 年末に発行された欧米の 6 つの観光雑誌で「2019 年に行くべき場所」として「SETOUCHI」が取り上げられるなど、国内のみならず海外からも注目を集めることとなり、多くの観光客が香川を来訪し、アートやおもてなしを楽しんだ。

一方で、国内のあちこちで大雨などの災害が発生し、本県の観光客数にも影響が出た一年でもあった。

こうした状況の中、当協会では、市町観光協会、関係団体等と連携を密にし、観光圏及び日本版 DMO の体制づくりを図るとともに、国内外からの誘客促進やおもてなし力の向上に積極的に取り組んだ。

### ●観光振興のプラットフォーム機能（観光圏、日本版 DMO）の整備

平成 27 年 4 月に国土交通省の認定を受けた「香川せとうちアート観光圏」を推進するプラットフォームとして、また、平成 29 年 11 月に観光庁の登録を受けた日本版 DMO として、本県の強みである瀬戸内海や圏域内に点在するアート・文化資源等を独自の価値として確立するとともに、圏域内での周遊・滞在の促進、来訪者への情報発信等に取り組んだ。

### ●国際観光の推進

高松空港に定期路線が就航しているソウル（韓国）、上海（中国）、台北（台湾）、香港及び台北線を利用して同日乗り継ぎが可能なタイなどを主たるターゲットとして、現地でのキャンペーンの実施や旅行展示会への出展、旅行会社やマスコミの招聘、外国語パンフレットやノベルティグッズの作成・配布等を実施したほか、旅行会社に対しツアー造成の動機付けを行うための助成を行った。また、外国人旅行者が安心して、不自由なく満足して旅をしていただけるよう、多言語対応の強化や地域通訳案内士の育成・活用など、受入環境の向上を図った。

### ●香川の“おもてなし力”の向上

近年は観光客誘致の地域間競争が特に激しくなっており、この競争を勝ち抜くためには、観光地の魅力向上や食の充実に加え、地域をあげて観光客をお迎えす

る“おもてなしの心”が特に重要である。このためには、観光事業に従事する者はもとより、多くの県民が地元を知り、郷土愛を醸成し、誇りを持って来訪者に接することが不可欠である。

このため、平成 30 年度は、観光従事者やタクシー乗務員、バス従業員、経営者を対象にした「おもてなし研修」や、県民に香川のことを学んでもらう「さぬきアカデミー」などを開催し、香川の“おもてなし力”の向上を図った。

また、高松空港及び JR 高松駅構内の観光案内所において多言語（英・中・韓）で対応するなど、外国人を含めた観光客等の利便性の向上を図った。

## II 事業内容

### （公益事業）

#### 1 観光情報発信事業

##### （1）情報発信事業

###### ① ウェブ観光情報提供事業

○ 県公式観光サイト「うどん県旅ネット」において、観光客等が必要とする旬できめ細かな観光情報を分かりやすく発信し、本県への誘客を促進するため、特集ページの充実、フォトコンテストの実施に加え、観光客の滞在を促進するための夜型観光や体験型観光のページを作成するなど、積極的に情報発信を行った。また、SNS については、新たにインスタグラムを開始し、本県の旬でタイムリーな情報の発信を行った。

※うどん県旅ネットアクセス数（セッション数）：10,211 件／日

###### ② うどん県アート県ブランドプロモーション事業

○ 本県の知名度やブランドイメージの向上を図り、旅行先や県産品の購入先として“選ばれる香川”になるよう、本物志向が高いと思われる首都圏の 30 代から 50 代の女性をメインターゲットとして、「大人うどん県」をテーマに、うどん県副知事の要潤氏と木内晶子氏、アートについては宮本亜門氏が出演する、香川県にはうどん以外の絶品グルメや観光地、そして現代アートから世界的な巨匠のアートまでがコンパクトかつ贅沢に揃っていることをアピールする動画とポスターを制作し、ウェブ配信や首都圏での交通広告等による情報発信を行った。

○ （株）世界文化社との協同により、女性総合誌「家庭画報」の企画「本物に出会う家庭画報の旅」において、直島と金刀比羅宮を巡る旅を催行し、アート県のプロモーションを行った。

○ オリーブ植栽 110 周年を機に、オリーブ栽培発祥の地「小豆島」を県外に発信するため、楽天トラベルに特集を掲載し、観光誘客を図った。また、女性総合誌「婦人画報」に小豆島でできるオリーブにちなんだ体験の特集記事を掲載した。

○ 本県のブランド化を図るため、アート、食などの観光資源を紹介するパンフレット等を制作、配布した。

### ③ 香川フィルムコミッション事業

- 本県の知名度の向上と誘客を図るため、映画制作会社等にロケ地等の情報提供を行うとともに、地元関係団体及び県民の協力を得ながら、ロケ誘致、支援に努めたほか、「うどん県旅ネット」の専用ページにおいて、積極的な情報発信を行った。

※支援実績：テレビ 27 本、CM5 本、その他 21 本

### ④ 四国 2 観光圏ブランド発信事業（観光圏事業）

- 隣接する「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」と連携し、豪州市場をターゲットに、旅行会社やメディアを対象とした現地商談会や 2 観光圏のコンテンツを体験するファミツアーを実施し、旅行商品の造成や情報発信に取り組むなど、両観光圏の認知度向上及び誘客促進を図った。

※現地商談会：豪州 Luxperience（シドニー）（30 年 9 月 17～19 日）25 社と商談

※旅行会社招請ツアー：招請者 2 社 2 名（31 年 3 月 4～8 日）

### ⑤ ブランド・コンセプトを体感できる写真収集事業（国補事業）

- 観光圏のブランド・コンセプトを視覚的に体感でき、メディアや旅行者が広報等で活用できる高品質の写真を収集し、「うどん県旅ネット」で公開・提供した。

### ⑥ 全国観光圏推進協議会「Undiscovered Japan」情報発信事業（国補事業）

- 全国 13 観光圏と連携し、「ツーリズム EXPO ジャパン」でのブース出展や商談会への参加、シンポジウムの開催、「Undiscovered Japan」のウェブサイトや SNS の運用、パンフレット等の制作などの情報発信を行った。

※「ツーリズム EXPO ジャパン」でのブース出展：9/20～23

### ⑦ 多言語サイト構築事業（国補事業）

- 「うどん県旅ネット」の多言語サイトにおける中国語（繁体字、簡体字）、韓国語のページや、29 年度に作成したインバウンド関係事業者向けページの充実を図った。

## （2）刊行物発行事業

「さめきオリジナル観光地図」を改訂し、観光案内所での配付や郵送のお申し出に対応したほか、旅行会社にも提供し、誘客に務めた。

※さめきオリジナル観光地図 100,000 部作成

## 2 観光客誘致事業

### （1）国際観光推進事業

#### ① 海外からの観光客誘致事業

- 台北線については、台湾からの一層の観光客誘致のために、現地において新聞や雑誌などメディアを利用した情報発信を行うとともに、台湾美食展やランタンフェスティバル、台北・台中・高雄旅行展等に出展するなどのプロモーションを実施したほか、旅行会社に対して旅行商品造成及び送客を働きかけた。また、台北や高雄の旅行会社を対象とした現地商談会を開催したほか、航空会

社と連携した旅行雑誌による情報発信を行った。

なお、台北での同日乗り継ぎが可能であるタイ等からの誘客促進を図るため、SNS を利用した情報発信等を行った。

- 上海線については、上海国際旅行博や訪日旅行イベントへの出展等のプロモーションを実施するとともに、春秋グループや KAGAWA アンバサダーの朝倉禅氏と連携した観光 PR、県内在住の中国人留学生を活用した情報発信、上海春秋旅行社と県内宿泊施設等とのマッチング活動の支援を行った。
- ソウル線については、現地での旅行会社主催の旅行博への出展に加え、「日韓交流おまつり 2018in ソウル」などのイベントへの出展も積極的にいき、現地の FIT 層に対して、本県の一層の認知度向上に努めた。また、団体旅行商品については、旅行会社等への誘客 PR や新商品開発のための招請ツアーなどに取り組んできた結果、10月28日からデイリー化が実現し、新旅行商品の造成等が図られた。
- 香港線については、香港エクスプレスと連携したプロモーションを実施するとともに、直行便2周年を記念した PR イベントや旅行博等への出展、香港ブックフェア等での観光 PR、KAGAWA 観光パートナーと連携した観光 PR、各種メディア（旅行雑誌、ウェブサイト、香港エクスプレス機内誌等）を活用した観光 PR など、積極的なプロモーション活動を実施した。
- 欧米豪等からの誘客促進を図るため、四国ツーリズム創造機構やせとうち観光推進機構等と連携し、現地旅行会社や有力メディアを招請した視察ツアーにより旅行商品の造成支援及び効果的な情報発信を実施するとともに、JNTO 主催の商談会（VJTM）等への出展などを実施した。

② 外国人観光客誘致対策補助事業

- 台北線、上海線、ソウル線、香港線を利用し、県内で宿泊するツアーを催行した旅行会社に対して補助金等を交付した。

◆本県における外国人延べ宿泊者数（観光庁「宿泊旅行統計調査」）

	香川県	H28(2016)			H29(2017)			H30(2018)【速報値】		
		宿泊者数	対前年比	シェア	宿泊者数	対前年比	シェア	宿泊者数	対前年比	シェア
従業者数 10人以上	台湾	67,470	1.10倍	( 26.5%)	108,660	1.61倍	( 27.9%)	109,650	1.01倍	( 27.2%)
	中国	38,870	2.38倍	( 15.3%)	66,120	1.70倍	( 17.0%)	75,590	1.14倍	( 18.7%)
	香港	30,870	1.70倍	( 12.1%)	56,550	1.83倍	( 14.5%)	62,710	1.11倍	( 15.5%)
	韓国	27,180	0.83倍	( 10.7%)	53,370	1.96倍	( 13.7%)	67,510	1.26倍	( 16.7%)
	アメリカ	7,050	1.50倍	( 2.8%)	10,450	1.48倍	( 2.7%)	13,880	1.33倍	( 3.4%)
	その他	82,990	2.34倍	( 32.6%)	94,670	1.14倍	( 24.3%)	74,210	0.78倍	( 18.4%)
	計	254,430	1.51倍	( 100.0%)	389,820	1.53倍	( 100.0%)	403,550	1.04倍	( 100.0%)
全体 (従業者数10人未満含む)	358,360	1.70倍	( - )	482,300	1.35倍	( - )	527,300	1.09倍	( - )	

### ③ 食と農を活用した外国人誘客事業

- 本県ならではの「食」と「農」である郷土料理と農業体験を、外国人観光客に向けて効果的に情報発信するため、外国人モニターを募集して体験ツアーを実施し、外国人目線での意見を収集した。
- 収集した知見を広くフィードバックするため、同行した専門家が「かがわ地産地消協力店研修会」において、ツアーの検証結果や外国人観光客向けの訴求方法を周知・提案した。
- モニターに提供した郷土料理づくりや農業施設見学を体験型コンテンツとして商品造成し、うどん県旅ネットの英語サイトに掲載した。

## (2) 観光客誘致促進事業

### ① 周遊型・体験型旅行商品（滞在プログラム）造成事業（観光圏事業）

- 観光地や伝統的町並み、現代アートをはじめとする芸術・文化や産業（農林水産業や製造業など）といった本圏域の豊かな地域資源を活かした周遊型・体験型の旅行商品（滞在プログラム）を造成するため、海外向けの旅行商品を取り扱う専門家や在住外国人らによるモニターツアーを実施し、民間事業者等と連携の上、旅行商品を5本販売した。

### ② うどん県ツーリズムバス助成事業

- 四国外の発着で、本県内に1泊以上宿泊する団体バスツアーを催行する旅行会社やバス会社に助成を行い、本県への団体旅行客の誘客を図り、旅館・ホテルの平日利用を促した。

※助成実績：催行ツアー数 85 件、宿泊者数 3,593 名

### ③ 国内航空路線活用誘客事業

- 航空会社と連携し、東関東エリア等を対象に、雑誌や SNS を活用して瀬戸内海やアート、グルメなどをテーマにした旅行プランの紹介・提案や、ビジネス需要の拡大を図るためのプロモーションを行うとともに、LCC 利用に関心の高い 10 代後半から 20 代の女性層に香川県を認知してもらうため、ターゲット層に人気のあるインスタグラマーを招聘し、三豊市の父母ヶ浜などインスタ映えするスポットや施設などの情報発信を行った。

### ④ クルーズ客船誘致事業

- 日本船社やチャータークルーズを行うエージェント等を訪問し、香川県の観光情報を提供するなど、旅行商品造成を働きかけた。
- 海外からのクルーズによる観光客を誘致するため、外国クルーズ船社のキーパーソン等の視察を受入れるなど、誘致活動を実施した。

※クルーズ船受入実績：飛鳥Ⅱ等 14 回、延べ 18 日

### ⑤ 全国年明けうどん大会開催関連事業

- 30 年 12 月 1 日、2 日にサンメッセ香川で開催された 5 回目となる「全国年明けうどん大会」へ、広く県外からの誘客を図られるよう、大都市圏での交通広告による情報発信を行うとともに、大会へのバスツアー造成を支援(4 社)した。

※全国年明けうどん大会集客数：43,200 人

## ⑥ サイクリング誘客促進事業

- 国内外からのサイクリストの誘致を図るため、基幹ルートを設定し、パンフレット（日本語・英語・中国語（繁体字）・韓国語）を作成するなど、情報発信を行った。

## ⑦ 交通・観光連携による付加価値向上事業（国補事業）

- 官民連携の体制のもと、食・農・交通・観光業種が連携したインバウンドビジネスを検討する等、交通事業者等をメンバーとする「交通観光連携ワーキンググループ」を1回、WG内に設置した「食農連携インバウンドビジネス検討会」を4回と「小豆島検討会」を2回実施したほか、県内交通の利便性を向上するため、レンタカーとフェリーの乗船円滑化のために3言語併記（英語・中国語（繁体字）・韓国語）の簡易書式を作成した。

## （3）日本観光振興協会拠出事業

日本観光振興協会が実施する広域観光振興事業に対し、事業費負担を行った。

## 3 受入態勢整備事業

### （1）栗林公園管理支援事業

香川の貴重な文化遺産であり、主要な観光施設でもある栗林公園の保存・利用促進を目的として、県からの委託により造園補助や南湖での和船運航を実施した。  
※和船乗船者数：25,086人（対前年比1.7%増）

### （2）外国人観光客受入整備事業

#### ① 外国人観光客受入拠点事業

- 高松空港のインフォメーションセンター（※1）及び、JR 高松駅構内のツーリストインフォメーションセンター（※2）で観光案内を行い、外国人観光客の利便性の向上を図った

※1 高松空港インフォメーションセンター

対応言語：英語、中国語、韓国語 運営日等：年中無休、8:15～21:40

※2 香川・高松ツーリストインフォメーション

対応言語：英語、中国語、韓国語 運営日等：年中無休、9:00～20:00

#### ② 外国人観光客受入環境向上事業

- 増加傾向にある外国人観光客が、言葉の壁や情報収集の不自由さを感じることなく、快適に旅行を満喫できる受入環境の向上を図るため、24時間対応の「香川県多言語コールセンター」を開設し、外国人旅行者との円滑なコミュニケーションや多言語表示を支援するとともに、観光関係事業者や飲食施設関係者などを対象に、本県を訪れる外国人旅行者の現状や、欧米豪市場への取組みや夜型観光コンテンツの必要性などについて学ぶインバウンド講習会を開催した。

また、国や関係機関が保有する本県関連既存統計データを分析し、今後のインバウンド戦略を立案・検証するための調査事業を実施した。

※コールセンター利用施設数：132 施設

※講習会参加者数：135 名

### (3) 観光香川おもてなし運動推進事業

#### ① おもてなし運動事業

- 国内外から本県を訪れる観光客の満足度向上を図るため、県やわがかがわ観光推進協議会などと連携し、「さぬきアカデミー」や観光従事者・タクシー事業者・バス従業員・経営者向けの「おもてなし研修会」を開催するとともに、「香川おもてなしタクシー」の認定を行うなど、全県的な「観光香川おもてなし運動」を展開した。

※観光香川おもてなし運動県民会議への出席：30年11月28日

※さぬきアカデミー：10回開催、延べ参加者数552名

※観光従事者向けおもてなし研修会：3回開催、参加者数26名

※タクシー乗務員向けおもてなし研修会：7回開催、参加者数73名

※香川おもてなしタクシーの認定：66名

※従業員向けおもてなし研修会：3回開催、参加者数29名

※経営者向けおもてなし研修会：3回開催、参加者数13名

#### ② 観光客誘致対策事業

- 人口が密集し、香川への誘客宣伝効果の高い東京、大阪地区において、観光説明会等でのPRに務めた。

### (4) 人材育成・調査等事業

#### ① マーケティング調査（観光実態調査）事業

- 本圏域を訪れた観光客の実態調査（旅行目的、訪問回数、消費金額、満足度、再来訪意向等）を実施し、今後の本観光圏の戦略策定等の基礎資料とした。

#### ② 全国観光圏マーケティング調査事業（国補事業）

- 全国13の観光圏が共同で、多言語の調査票を用いて、外国人観光客の属性、消費額等を調査するなど、国外の観光客を中心とした「満足度調査」を実施し、今後の本観光圏の戦略策定等の基礎資料とした。

#### ③ 観光地域づくりプラットフォーム人材育成事業（国補事業）

- 行政や観光協会、民間事業者などが、観光圏戦略会議やワーキンググループなどで議論を深めることにより、本観光圏の整備を担う人材を育成するため、観光圏戦略会議を4回、ワーキンググループ（FIT推進、着地型旅行商品造成、夜型商品造成、交通観光連携、農泊推進）を18回開催した。

#### ④ 全国観光圏推進協議会推進事業（国補事業）

- 全国13観光圏が連携し全国観光圏推進協議会を5回、観光地域づくりマネージャーレベルアップ研修を2回、観光圏シンポジウムを東京都で開催するとともに、全国共通の来訪者満足度調査などを行った。

## (5) 観光客の利便性・満足度向上事業

### ① 公式観光パスポート発行事業

- 周遊型観光ツールとしての公式観光パスポート「うどん県おもてなしパスポート」を増刷発行した。

※パスポート増刷部数：11万部

### ② 観光品質認証制度導入事業（国補事業）

- 宿泊施設の観光サービスの品質を第三者が評価し認証する制度「SAKURA QUALITY」を導入し、周知会を開催するとともに、申請があった宿泊施設に対して、調査員による施設調査を実施した。

※認証宿泊施設数：2施設

### ③ 圏域内観光案内所機能向上事業（観光圏事業）

- 県や市町の観光協会等が設置している各観光案内所のワンストップ化を図るため、観光案内所スタッフを対象に圏域内外の地域を学ぶ研修会を2回開催した。

※研修会参加者数：延べ23名

### ④ 観光施設等のトイレ洋式化事業

- 観光施設等のトイレを洋式化する施設管理者等に対し、その費用の一部を助成する事業を実施した。

※補助実績：10件

## (6) 四国4県観光協会連合事業

域内交流の促進のため、四国4県の主要なショッピングモール等において観光キャンペーンを実施した。

また、「おもてなし」により観光客に感激・感動を与えた事業者等を「四国おもてなし感激大賞」として顕彰した。

※観光キャンペーンの実施

7/1 香川「イオンモール綾川」 7/22 愛媛「エミフルMASAKI」

7/28 徳島「ゆめタウン徳島」 9/1 高知「こうち旅広場」

（高知は7/29予定だったが、台風で延期）

※四国おもてなし感激大賞

応募総数 82件

大賞 ふれあいの宿 遊遊NASA（徳島県）

準大賞 栗林公園ボランティアガイド（香川県）、大和屋別荘（愛媛県）、  
（株）新県交ハイヤー（高知県）

## (収益事業) 旅行業

第2種旅行業者として造成した旅行商品を当協会自らが販売した。

※販売実績：6本販売（うち、催行5本）

主なツアー：伊吹島神楽を堪能（30.6.10）など



## (法人会計) 組織活動事業

### (1) 会議の開催及び関係団体の開催する会議への出席

#### ①理事会

##### ○ 第1回

期日) 平成30年6月6日(水)

内容) 通常総会提出議案の審議等

##### ○ 第2回

期日) 平成30年6月27日(火)

内容) 役員を選任について

##### ○ 第3回

期日) 平成30年12月25日(火)

内容) 平成30年度事業の進捗状況及び平成31年度事業計画についてほか

##### ○ 第4回

期日) 平成31年3月14日(木)

内容) 平成31年度事業計画(案)・収支予算(案)についてほか

#### ②総会

期日) 平成30年6月27日(火)

内容) 平成29年度事業報告・収支決算について

平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

役員を選任について

### (2) 地域行事等の後援等

・各種事業の後援等

### (3) 各種関連団体事業への協力

・四国ツーリズム創造機構他各種事業に協力

### (4) 観光事業功労者等の表彰

・観光事業従事者の資質の向上を図るため、観光事業の発展に寄与し功績が著しい観光事業功労者及び優良従事者の表彰を行った。

※観光事業功労者4名、優良従事者11名

### (5) 会員拡大による運営基盤強化

・入会ご案内のパンフレットを作成し、配布した。

※30年度末会員数：247(29年度末会員数：237)

## 事業報告の附属明細書

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。